

令和7年度 学校運営協議会（第2回）議事録

- 1 日 時 令和7年11月19日（水） 14:15～15:00
2 場 所 本校 会議室
3 参 加 者 協議会委員：地域住民、保護者等4名
本校教職員：校長、教頭、事務長、首席、教務部主任、進路指導主事
4 内 容

1 委員長挨拶

美原高校の閉校ということに関して、保護者や地域の方からの寂しいという声を聞く機会が徐々に増えてきている。美原高校は地域の宝であると感じている。

閉校は残念ではあるが、前向きな話も聞いていきたいと思う。

2 校長挨拶

6月18日に第一回学校運営協議会を実施し、その後授業アンケートを実施した。第1回授業アンケートの結果は平均が3.64で、昨年度は3.55だった。満点が4点なので90点と言ってもおかしくない高さであると考えている。

授業アンケートは全部で9項目あるが、そのうちの8項目で数値が上がっており、残る1つも横ばいであった。

先生方は生徒をしっかりと見ながら、生徒にとって有効な授業を実践していただいていると考えている。

2学期になり、就職・進学について順調であると考えている。

就職に関しては、1次で一部不合格などあったが、最終的にはほとんど決まりそうである。進学に関しても、これから入試を受ける生徒もいるが、全体的にはほぼ希望にかなったような形になるとを考えている。

11月1日に文化祭があり、充実した内容になった。3クラスで75人しかいないにもかかわらず、生徒も一生懸命頑張り、3年間で一番楽しかったという感想もたくさん見受けられた。同窓会やPTA、地元警察などのご協力のもと、実に多くの取り組みをしていただいた。

また、特別講演として女子サッカーの澤さんに『諦めない心』という題で講演をしていただいた。

生徒にとっては非常に有意義で良い文化祭となった。

3 議事

○閉校へ向けた取組みについて

これまで、閉校準備委員会を第1回から第8回まで開催し進めてきた。

① 創立50周年記念式典について

令和8年2月14日に帝国ホテル大阪で開催する。会費は5000円。

同窓会からも案内を配布していただき、申し込みが入ってきている。現在200人を超えたというような状況。

当初は参加人数が600~700名を想定していたことから一番大きな会場を押さえていたが、現状ではそこには達しないだろうと予想される。11月末を締め切りとし、まだ募集している。

② 最後の学校見学会について

2月14日の午前中に開催する。こちらは無料のイベントである。学校を見学したいという卒業生向けに、2時間程度学校を開放して様々なコーナーを見ていただいたり、写真を撮っていただけるよう企画を考えている。また、卒業生による太鼓の演奏や、食堂さんもご協力いただいて開けていただく予定。こちらも200名以上の申し込みいただいている。

③ 閉校式について

令和8年3月4日の卒業式に続いて30分程度の式典というような形で行う。

多くの方に周知し、案内の準備を進めている。

④ 閉校記念誌について

全96ページで進め、初稿が仕上がってきている。学校の沿革や1期生から48期生までの生徒や関係する先生方の原稿を集めた。多くの方にご協力いただき、ようやく完成にこぎつけた。

また、本校の特徴となる体育コースなどの取組みや部活動などの写真も提供いただいた。そのうえで、全ての部活動ではないがいくつかのクラブにも原稿を書いていただいた。

そして、設立当初の教員と卒業生との座談会や歴代生徒会役員による座談会のページも設けている。

1月の半ば頃には納品されて、2月の祝賀会や学校見学会、3月の閉校式で皆さんにお配りする。また、他の全ての府立高校など関係する部署にも送る予定。

⑤ メモリアルホームページについて

ホームページに使用する写真については、文化祭などの行事を中心にたくさん撮っていた。順調に進んでいると考えている。

⑥ 50周年記念スライドの作成について

業者に依頼して、学校風景などを中心にドローンで空中撮影をしていただいた。完成したスライドは、創立50周年の祝賀会と閉校の式典で上映する予定。

⑦ 生徒の基礎学力向上に向けた取組みについて

ベネッセのマナトレを使って毎日「朝学習」として、基礎学力向上に取り組んでいる。

→補足

基礎学力向上に向けた取組みについては、9月の基礎学力診断テストで結果が出てきた。今回の3年生の平均偏差値を過去の3年生と比較すると、過去最高の結果となった。生徒の皆さんをはじめ先生方も、「朝学習」を通して基礎学力向上にしっかりと取り組んだ結果であると確信している。

〈協議員より〉

・授業アンケートで一つの項目で横ばいだったということだが、その項目と理由を教えてほしい。

→生徒自身が授業に前向きに取り組んでいるかどうかを問う項目である。

横ばいとなった理由としては、もともと平均が4点満点中3.73と非常に高かったことが考えられる。

余談であるが、今回一番上がったのが興味関心の項目、そして知識技能の項目である。まさに、「主体的・対話的で深い学び」に向けた先生方の授業への取組みの成果であると考えている。

また、第2回の授業アンケートは12月に実施し、1回目と2回目をまとめて、第3回の運営協議会でまた資料を出す予定。

・閉校に向けた取組みを限られた人数の中で、着実に進められているのは大変だったのではないかと思う。

その中で基礎学力テストの偏差値が過去最高になったことや、授業アンケートでも高い数値が出ていることは本当に優秀だと感じるとともに、先生方も団結しておられると思う。本当に素晴らしい学校だと改めて思う。

○各分掌より

〈教務部〉

今年も授業改善のプロジェクトチームを立ち上げ、校内で授業改善に向けて取り組んでいる。今年度は、昨年の「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善に加えて、評価を中心、「指導と評価の一体化」をテーマに授業改善に取り組んでいる。

第1回の校内研修では、今年度のテーマと取組み内容を全教員に周知する機会とした。

第2回の校内研修では事前に各教員が作成したルーブリックをもって、作成に当たって重視した内容や2学期以降に取り組む授業改善などについて話しあった。

今月下旬には、「指導と評価の一体化」をテーマに国語と英語の教員が研究授業を行い、全ての教員で見学をするとともに研究協議を行う。

1月の第3回の校内研修では、研究授業の取組みを振り返るとともに成果や課題について共有し、今年1年の取組みをまとめていく予定である。

〈進路指導部〉

11月12日時点での進路状況報告。4年制大学で受験者数23名、短期大学で2名、専門学校で22名となっている。

大学に関しては指定校推薦、専門学校については総合型選抜の受験方式が中心となっている。傾向は例年と変わらない。

資料では受験者数と合格者数の数字に開きがある部分が見られるが、あくまで11月12日時点での合格者数で、まだ結果が出ていない学校が多数あることによる。今後、大学の指定校推薦等の結果が出そろってくることから、12月を目途に受験者数と合格者数（進学決定者数）が一致してくると考えている。

続いて就職に関して報告。一次内定率が81.5%となった。例年に比べて若干低い数字だが、22人が一次内定合格となっている。二次選考以降対象者が5名となっているが、すでにそのうち4名は内定済みとなった。残り1名、来週に最終試験があり、内定をいただければ全員決定という形になる。

学校紹介就職以外の就職希望者は、自衛隊1名内定済みになっている。

〈保健部〉

検診については、生徒の人数が減少していることもあり、非常にスムーズに終えることができた。

6月に助産師の中村先生を講師にお招きして性に関する講演会を実施し、人間関係の築きやライブプランを考えること、妊娠・中絶・性感染症・セクシャルラスマントについてなど幅広くお話をいただいた。

講演会ではグループワークなども取り入れていただくことで、自分と人とは違うということの気づきがあったようだ。また、「子どもを産む・産まない」については女性が主体となって判断するケースも考えられるが、「育てる」とについては男性も女性も一緒に考えることが必要だという感想も見受けられるなど有意義なものとなった。

避難訓練については、前期は地震発生時の訓練に加えてJアラート、風水害に関する動画視聴なども行った。

後期は火災発生時の避難であったが、クロスロードゲームに加えて、能登半島地震や震災1年後の様子についても学習をした。

食に関する講演会を11月27日に実施する。保健センターの紹介や食育に関する知識などについてご講演いただく。

教育相談については、今年度からスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーともに変わられたが、両名とも生徒に寄り添い、適切に相談を受けていただいている。そのため、一定数継続利用がある。

また、保健委員会で様々な測定体験を毎年行っている。今年度も保健委員6名が体験を行った。学校薬剤師の柚本先生と薬学部の実習生の方々のご協力のもと、生徒は普段は見るこ

とのない機器に触れたり、測定の仕方を学んだりするなど積極的に取り組んでいた。

〈文化祭実行委員会〉

学校全体で3クラスのみと規模が小さくなつたことから、盛り上がり面で懸念された。

そのため実施方法などを検討し、午前は模擬店と有志のステージ 120 分、午後は舞台ステージの発表で各クラス 15 分という 2 部構成で行った。その結果、午前・午後ともにすごく盛り上がつた。

今回はクラスの出し物以外に、次の 3 つの団体に協力していただいた。

1、同窓会

- ・サコッシュの作り体験および生徒のキッチンカー利用のための費用面で、ご尽力いただいた。生徒はとてもキッチンカーを楽しんでいた。また、ワークショップも好評であった。

2、黒山警察

- ・今年度、本校は safety bicycles 推進校であることから、関係する黒山警察にも来ていただき、自転車シミュレーター体験を行つた。また、ヘルメットの着用率を上げる目的で、ヘルメットデザインを考えるお絵描きコーナーも行い、大変盛況であった。

3、PTA

- ・ビンゴ大会を計画し 2 回実施していただいた。景品も豪華で参加者も喜んで楽しくやっていた。

ゲストの講演会は、元女子サッカー日本代表の 澤 穂希さんに来ていただき『諦めない心』と題して実施した。

講演の後、生徒からの質問コーナーや生徒全員との集合写真撮影があり、生徒はとても楽しんでいた。

生徒からの感想より

キッチンカーや澤さんの講演など、今年の文化祭が一番楽しかったという感想が多かった。また、非常に満足と答えた生徒の割合が 98.5% で、ほとんどの生徒が満足した文化祭だった。

〈協議員より〉

- ・文化祭は本当に難しい環境での開催であったと思うが、先生たちが全力を尽くし、生徒のみなさんと取り組まれている様子が感想の文面から見えてくるようで、本当に素晴らしいと思った。

- ・日頃から先生方が全力で取り組まれているところを子どもたちが感じており、思いも伝わっていると思う。そのことが、生徒たちも頑張ろうとして勉強面で結果にあらわれてきているのではないかと思う。そういう温かい環境で育つた生徒たちは社会に出て、きっと良い人生を歩むのではないかと感じた。

- ・数字を聞くと、本当に先生方がサポートしていただいているのがよくわかる。卒業後の心

の窓口についてサポートできる体制をお願いしたい。

- ・報告を聞いて非常に感銘を受けた。先生方は一生懸命やっていただいて、生徒さんも一生懸命楽しみながら最後の学年を満喫されているように思う。また先生方も年度末で一区切りになると思うが、次の学校に進まれても今回の経験を参考に、一生懸命頑張ってほしい。
- ・文化祭も楽しく終わったようで、すごく良かったと思う。学力も上がっているということもすごいなと思う。

→卒業後の進路面をはじめとする心の相談窓口について、府教育へはサポートがきちんとできるような形をお願いしている。また統合校の大塚高校とも相談させていただいている。子どもたちが大塚高校へ相談に行くときに、できる限り敷居が低く行きやすい環境をめざしたいと思っている。

4 閉会挨拶

残りもう4ヶ月余りとなってきたが、ゴールをめざすのではなくて、まだまだ先があるというつもりで、取り組んでいかなければならないと思っている。

本校の教育目標は、「社会人として自立し、自分の夢を実現させて地域や社会に貢献できる人材を育てる」です。

これについては先生方も十分に認識していただいているとともに、本当に生徒に対してしっかりと温かく接し、生徒たちの力をどう伸ばすかという教育活動に対しても真剣に考えながら取り組んでいただいている。

例えば、教員研修においても、生徒たちをどのように伸ばしたらいいのかという目標設定をしっかりと共有するとともに、効果的な取組みについても真剣に議論していただいている。その上で授業をはじめとする教育活動に取り組んでいただいており、成果も着実に出ていることから非常に心強いと思っている。

これからも、学校に来ている生徒全員をきちんと卒業させること、そして社会に出たときに頑張っていけるような力をつけることを目標として頑張っていきたいと思う。